

羅金十盤空

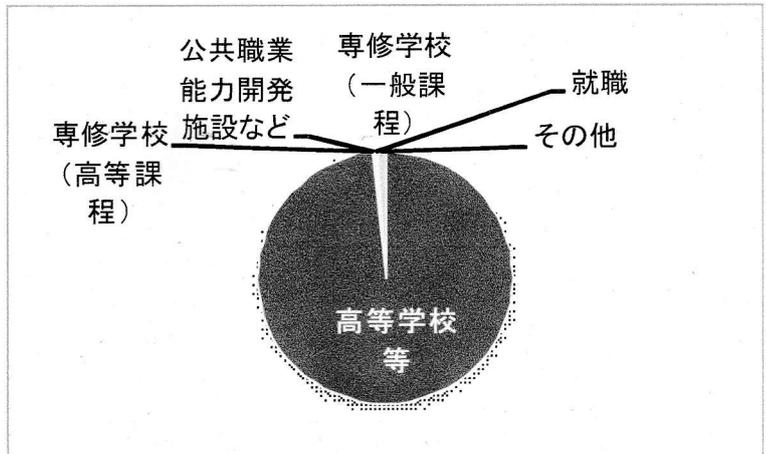
「中学卒業後」のさまざまな進路

3年生はあと11ヶ月で卒業を迎えます。自分の意思（何かをしようという思い）と責任において進路を選択します。みなさんの卒業後の進路は限りなく広がっています。自分の「夢」を見すえて、船出の準備をしっかりとしていきましょう。

右の図は、「中学校卒業後に先輩たちが選んだ道」という平成25年に文部科学省「学校基本調査」で示されたデータです。

中学校卒業後卒業後の進路は、「高等学校等」が一番多く、98.37%となっています。

以下、「専修学校（高等課程）」が0.25%、「専修学校・各種学校（一般課程）」の0.09%、「公共職業能力開発施設」の0.05%と続きます。「就職」は0.35%となっています。



この数値は全国的な統計のデータであり、学校によって実態は異なります。しかし、ほとんどの中学生が進路として高等学校進学を選んでいるということは読み取ることができます。

さて、高等学校と就職については、一般的によく知られています。しかし、それ以外の区分については、よくわからないという場合もあります。

そこで、「高等専門学校」「専修学校」「公共職業能力開発施設」「事業所内訓練施設」について説明しますので、進路決定の際の参考にしてほしいと思います。

高等専門学校

一般に「高専」と呼ばれます。大学と並ぶ高等教育機関であるのが特徴です。前期課程3年、後期課程2年の計5年間学びます。技術者育成のために、専門科目を中心に高度な知識や技術を学びます。福島県にはいわき市に「福島工業高等専門学校」があります。

専修学校

就職したり、資格を得るために役立つ知識や技術をより専門的に学ぶ学校です。入学資格によって次の3つの課程があります。

高等課程・・・中学校卒業者が対象。一般に高等専修学校と呼ばれる。

専門課程・・・高等学校卒業者が対象。一般に専門学校と呼ばれる。

一般課程・・・入学資格を問わない。

このうち、中学校卒業者が進学する高等課程では、ほとんどが3年間修学し、高等学校卒業と同等の資格が得られます。（「大学入学資格付与指定校制度」といいます。）通信制の高等学校と連携し、同時に高校修了となる専修学校もあります。

（社）福島県専修学校各種学校連合会に加盟している県中地区の専修学校は、「福島県理工専門学校」「郡山学院高等専修学校」「今泉女子専門学校 高等課程」「国際アート&デザイン専門学校 高等課程」の4校です。

公共職業能力開発施設

職業に必要な知識や技術を身につけることを目的とした公共の教育機関。各都道府県で設置している施設に職業訓練開発校がある。ただし、中卒者を対象とした学科は少ないです。

事業所内訓練施設

会社や事業所に就職し、給料をもらいながら、仕事に必要な知識や技術を習得することを目的とした教育施設です。